

大阪成蹊短期大学 卒業時アンケート

■大阪成蹊短期大学 卒業時アンケート [2020年3月卒業生]

実施要項：ペーパー・記名回答 有効回答率：94.2%（回答者682人／卒業者724人）

	回答者数	1.卒業生の成長実感度						2.本学への教育満足度						3.学びの人生への役立ち度						4.教職員のサポート満足度						5.就職・進路へのサポート満足度						6.入学満足度					
		満足			不満足			満足			不満足			満足			不満足			満足			不満足			満足			不満足								
		4	3	%	%	2	1	4	3	%	%	2	1	4	3	%	%	2	1	4	3	%	%	2	1	4	3	%	%	2	1						
生活デザイン学科	42	20	22	100%	0%	0	0	18	24	100%	0%	0	0	22	19	97.6%	0%	0	0	27	15	100%	0%	0	0	23	19	100%	0%	0	0	25	17	100%	0%	0	0
調理・製菓学科	115	56	56	97.4%	2.6%	2	1	58	52	95.7%	4.3%	5	0	68	44	97.4%	2.6%	3	0	71	39	95.7%	4.3%	5	0	63	47	95.7%	4.3%	5	0	63	49	97.4%	2.6%	3	0
栄養学科	80	30	50	100%	0%	0	0	29	51	100%	0%	0	0	40	40	100%	0%	0	0	44	36	100%	0%	0	0	34	44	97.5%	2.5%	2	0	43	37	100%	0%	0	0
幼児教育学科	271	82	185	98.5%	1.5%	4	0	75	184	95.6%	4.4%	11	1	112	155	98.5%	1.5%	4	0	98	164	96.7%	3.3%	9	0	100	166	98.2%	1.5%	4	0	104	153	94.8%	5.2%	11	3
観光学科	90	34	51	94.4%	5.6%	5	0	27	59	95.6%	4.4%	4	0	41	44	94.4%	5.6%	5	0	37	50	96.7%	3.3%	3	0	45	42	96.7%	3.3%	3	0	45	42	96.7%	3.3%	3	0
経営会計学科	55	17	36	96.4%	3.6%	2	0	13	40	96.4%	3.6%	2	0	23	31	98.2%	1.8%	1	0	15	39	98.2%	1.8%	1	0	15	39	98.2%	1.8%	1	0	21	34	100%	0%	0	0
グローバルコミュニケーション学科	29	4	22	89.7%	10.3%	3	0	5	19	82.8%	17.2%	5	0	8	18	89.7%	10.3%	3	0	12	17	100%	0%	0	0	7	18	86.2%	13.8%	4	0	11	15	89.7%	10.3%	3	0
短期大学 合計	682	243	422	97.5%	2.5%	16	1	225	429	95.9%	4.1%	27	1	314	351	97.5%	2.3%	16	0	304	360	97.4%	2.6%	18	0	287	375	97.1%	2.8%	19	0	312	347	96.6%	3.4%	20	3

【回答選択肢】 4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまりそう思わない 1：まったくそう思わない

1. 本学の学びを通して、あなた自身の成長を実感できましたか？

成長実感度 **97.5%**

3. これからの人生において役立つことを本学で学べましたか？

人生への役立ち度 **97.5%**

5. 就職や進路選択におけるサポート体制は満足ですか？

就職サポート満足度 **97.1%**

2. 本学の教育方針や教育内容は、満足できるものでしたか？

教育満足度 **95.9%**

4. 学修における教員・職員からの指導・サポートは満足できましたか？

教職員満足度 **97.4%**

6. 本学に入学して良かったと思えますか？

入学満足度 **96.6%**

■卒業生の『学科ディプロマ・ポリシー到達度の意識』アンケート結果

【質問】 学科のディプロマ・ポリシー（卒業時に身につけているべき力）について 本学での学びをとおして、以下の能力が身についたと思いますか。

【回答選択肢】 4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまりそう思わない 1：まったくそう思わない

(1) 生活デザイン学科

※（ ）内は前年比

(2) 調理・製菓学科

※（ ）内は前年比

学科DP		回答者数/回答率				平均点 (4点満点)	
設問	能力	4	3	2	1		
確かな専門性	1 日常の衣生活における衣服の取り扱いについて基本的な知識・技能を身につけた。	41	1			3.62 (+0.29)	3.60 (+0.34)
		97.6% (-0.6P)	2.4%				
	2 和、洋の衣服制作における基本的な知識・技能を身につけた。	41	1			3.62 (+0.38)	
		97.6% (+1.2P)	2.4%				
社会で実践する力	3 ファッションビジネスにおける基本的な知識を身につけた。	42	0			3.57 (+0.33)	3.40 (+0.27)
		100.0% (+1.8P)	0.0%				
	4 家庭生活において必要となる衣服の基本的な知識を身につけた。	42	0			3.57 (+0.32)	
		100.0% (+3.6P)	0.0%				
社会で実践する力	5 独立分業制が中心のアパレル・ファッション業界のなかで、自己が就く職の中から業界の課題を発見し、解決と業界発展に向けて取り組むことができる。	41	1			3.33 (+0.26)	3.40 (+0.27)
		97.6% (+6.7P)	2.4%				
協働できる素養	6 アパレル・スタイリストコースにおいては専門技術のスキルアップを目指し、ファッションコーディネートコースにおいては、ファッションビジネスに対して常に興味と向上心を持ち、何れも継続して自己研鑽を図ることができる。	41	0			3.46 (+0.28)	3.53 (+0.32)
		100.0% (+3.6P)	0.0%				
協働できる素養	7 アパレル・ファッション業界が分野ごとに分業制によって成り立ち、それぞれの分野の相互理解の上で同業界が成り立っていることの理解を持ち、他者と協働して取り組むことができる。	42	0			3.50 (+0.26)	3.53 (+0.32)
		100.0% (+3.6P)	0.0%				
協働できる素養	8 アパレル・スタイリストコースにおいては専門技術のスキルアップを目指し、ファッションコーディネートコースにおいては、ファッションビジネスに対して常に興味と向上心を持ち、何れも継続して自己研鑽を図ることができる。	42	0			3.55 (+0.37)	3.53 (+0.32)
		100.0% (+3.6P)	0.0%				
忠恕の心	9 他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	42	0			3.55 (+0.17)	3.55 (+0.17)
		100.0% (+0.0P)	0.0%				

学科DP		回答者数/回答率				平均点 (4点満点)	
設問	能力	4	3	2	1		
確かな専門性	1 学びの専門性における基礎知識や専門知識が身に付いた。	112	3			3.65 (+0.04)	3.61 (+0.01)
		97.4% (-1.8P)	2.6%				
社会で実践する力	2 身に付けた基礎的な技術・技能を実践し、活用することができる。	109	5			3.56 (-0.03)	3.47 (+0.05)
		95.6% (-2.8P)	4.4%				
	3 与えられた役割での課題に対し、解決していくために積極的に取り組むことができる。	113	2			3.47 (+0.08)	
		98.3% (+2.4P)	1.7%				
協働できる素養	4 技術を修得するため継続的に努力を行うことができる。	111	4			3.47 (+0.02)	3.51 (+0.05)
		96.5% (+0.6P)	3.5%				
協働できる素養	5 職場や地域社会で円滑に仕事を進めるため、積極的にコミュニケーションをとることができる。	110	5			3.51 (+0.05)	3.54 (+0.04)
		95.7% (+0.6P)	4.3%				
協働できる素養	6 チームで働く環境において、自ら考えて行動する姿勢が身に付いた。	110	5			3.54 (+0.10)	3.54 (+0.04)
		95.7% (+0.6P)	4.3%				
協働できる素養	7 他人の意見を受け止め、尊重することができる。	112	3			3.57 (-0.02)	3.54 (+0.04)
		97.4% (-1.0P)	2.6%				
忠恕の心	8 他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	115	0			3.65 (+0.06)	3.65 (+0.06)
		100% (+2.4P)	0%				

【質問】 学科のディプロマ・ポリシー（卒業時に身につけているべき力）について 本学での学びをとおして、以下の能力が身についたと思いますか。

【回答選択肢】 4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまりそう思わない 1：まったくそう思わない

(3) 栄養学科

※ () 内は前年比

学科DP		回答者数/回答率				平均点 (4点満点)	
設問	能力	4	3	2	1		
確かな専門性	1 食により人々の健康をサポートする専門家に必要な知識と技能を修得した。	80	0			3.51 (+0.04)	3.53 (+0.06)
	2 専門の知識と技能を活かした職業観を身につけた。	79	1			3.54 (+0.06)	
社会で実践する力	3 専門知識と技能を実践に活かし自ら課題解決を行うための思考力・判断力を身につけた。	80	0			3.49 (+0.02)	3.47 (+0.04)
	4 課題解決のために、探求心を持って、積極的に行動できる。	76	4			3.43 (+0.04)	
	5 専門職に必要な知識と技能を磨き続ける向上心を持ち、次のステップをめざすことができる。	77	3			3.50 (+0.08)	
協働できる素養	6 周りの人と協力してものを作ることができる。	80	0			3.63 (+0.12)	3.63 (+0.12)
	7 集団の中で責任感を持って、自分の役割を果たすことができる。	79	1			3.63 (+0.12)	
忠恕の心	8 他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	79	1			3.59 (+0.06)	3.59 (+0.06)

(4) 幼児教育学科

※ () 内は前年比

学科DP		回答者数/回答率				平均点 (4点満点)	
設問	能力	4	3	2	1		
確かな専門性	1 教育・保育・福祉専門職としての職務を行うことのできる専門知識・技能および基本的な実践力を身につけた。	268	3			3.41 (+0.08)	3.44 (+0.09)
	2 教育・保育・福祉専門職としての職務の内容や、子どもの命を預かる専門職としての責任と倫理を理解した。	269	2			3.45 (+0.10)	
	3 生涯にわたる人格形成の基礎づくりにより影響を与える児童文化財（絵本、紙芝居、人形劇、童謡、舞踊、おもちゃなど）についての知識が広がり深まったりとともに、もっと知りたいという思いをもつことができた。	269	2			3.43 (+0.09)	
	4 子どもの生命、発育・発達、子どもの育ちや子育てのあり方に影響を及ぼす環境の問題について学び、幅広い関心をもつことができた。	266	5			3.47 (+0.10)	
社会で実践する力	5 実習等での保育実践を通して、自己自身の課題にはつきりと気づき、社会から求められている保育者となるために、自らの人間性や専門性を高めるための努力や課題解決に向けた行動をすることの重要性を理解し、取り組むことができた。	269	2			3.44 (+0.07)	3.45 (+0.09)
	6 他者からの助言や指導を素直に受け止め、自己の成長につなげていこうとする意欲や行動力をもつ（高める）ことができた。	267	4			3.45 (+0.10)	
協働できる素養	7 他者の意見やアドバイスに耳を傾ける姿勢をもち、ひとりよがりにならず、コミュニケーションと柔軟な考え方を大事にすることによって、課題解決に向けて周りの人と協力することができる力を身につける（高める）ことができた。	268	3			3.46 (+0.09)	3.44 (+0.10)
	8 集団やチームの中で、率先して自らの役割を見つけ、与えられた役割を責任をもって果たすことができる力を身につける（高める）ことができた。	266	4			3.42 (+0.11)	
忠恕の心	9 誠実、公平、受容的態度で人と接し、他者の意見や主張を丁寧に聴き、他者の立場に立って物事を考えることができる。	267	4			3.42 (+0.09)	3.42 (+0.08)
	10 他者の人格やプライバシーを尊重しつつ、他者理解を深めるための積極的な関わりができる。	266	5			3.42 (+0.07)	

【 質 問 】 学科のディプロマ・ポリシー（卒業時に身につけているべき力）について 本学での学びをとおして、以下の能力が身についたと思いますか。

【回答選択肢】 4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまりそう思わない 1：まったくそう思わない

(5) 観光学科

※ () 内は前年比

学科DP		回答者数/回答率				平均点 (4点満点)	
設問	能力	4	3	2	1		
確かな専門性	1 観光学の専門知識（歴史、文化、社会、経済、経営等）と宿泊、旅行、運輸、接客等に関する実務能力や情報処理の専門技能を身につけた。	89 98.9% (+2.3P)	1 1.1%	3.43 (+0.16)		3.28 (+0.05)	
	2 観光関連及び一般企業における実務能力や顧客に対するホスピタリティ、サービスを理解し、心こもった対応力を身につけた。	90 100.0% (+1.1P)	0 0.0%	3.63 (+0.25)			
	3 産学連携・地域連携などに参加し、地域経済の活性化や課題解決に取り組む力を身につけた。	79 87.8% (-3.1P)	11 12.2%	3.19 (-0.04)			
	4 従来のマスメディア及びインターネット関連のメディアに関与し、それらを活用できるようになった。	80 89.9% (-1.0P)	9 10.1%	3.24 (+0.04)			
	5 英語の専門知識や実用英会話の能力を身につけた。	65 72.2% (-9.6P)	25 27.8%	2.91 (-0.14)			
社会で実践する力	6 社会で自立した人間として生きていくことができるように、自分で考え、問題を発見し、解決することができる。	84 93.3% (-4.4P)	6 6.7%	3.31 (+0.03)		3.41 (+0.13)	
	7 観光産業をはじめ広く企業、自治体等で活躍できるコミュニケーション能力、社会人としてのマナーを身につけた。	89 98.9% (+0.0P)	1 1.1%	3.49 (+0.16)			
	8 ビジネス実務における諸活動（営業、販売管理等）を遂行するのに必要な知識と技能、ならびに自己のキャリアをデザインできる能力を身につけた。	87 96.7% (+1.2P)	3 3.3%	3.43 (+0.20)			
	9 地域社会や職場において協力して仕事ができるコミュニケーション能力、自分で考える力、プレゼンテーション能力、協調性を身につけた。	88 97.8% (+2.3P)	2 2.2%	3.39 (+0.11)			
忠恕の心	10 他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	90 100.0% (+1.1P)	0 0.0%	3.58 (+0.17)		3.58 (+0.17)	

(6) グローバルコミュニケーション学科

※ () 内は前年比

学科DP		回答者数/回答率				平均点 (4点満点)		
設問	能力	4	3	2	1			
確かな専門性	1 文化の多様性を考えて、他者と力(*)を合わせ、言語表現やエンターテインメントの専門性を身につけた。	24 82.8% (-10.3P)	5 17.2%	3.17 (-0.11)		3.17 (-0.11)		
	※上記の「力」は、以下の(1)~(4)のうち、一つ以上を修得したことを指す。							
	(1)	国語・日本語・日本文化についての専門的な知識・技能を身につけた。	24 85.7% (-7.4P)	4 14.3%	3.11 (-0.17)			
	(2)	英語・英会話・国際社会についての専門的な知識・技能を身につけた。	20 69.0% (+0.0P)	9 31.0%	2.90 (+0.00)			
	(3)	音声・音楽（発声法、朗読、ナレーション、オーディオドラマ等）についての専門的な知識・技能を身につけた。	24 82.8% (-13.8P)	5 17.2%	3.07 (-0.24)			
(4)	舞台パフォーマンスを通じた身体表現についての専門的な知識・技能を身につけた。	23 79.3% (-10.4P)	6 20.7%	3.03 (+0.18)				
社会で実践する力	2 何事にも好奇心を持ち、生涯を通じて自ら主体的に学ぶことができる。	25 86.2% (-10.4P)	4 13.8%	3.10 (-0.31)		3.09 (-0.16)		
	3 変化の激しいグローバル社会を生き抜くための情報収集力・論理的分析力・発信力を身につけた。	25 86.2% (-6.9P)	4 13.8%	3.14 (+0.04)				
	4 人間に対する深い理解に通じ、問題を整理・解決し、新たな価値を創造することができる。	24 82.8% (-13.8P)	5 17.2%	3.03 (-0.21)				
	5 確かな言語力と表現力に基づき、異なる価値観を持つ人々と協働することができる。	25 86.2% (-10.4P)	4 13.8%	3.10 (-0.24)				
協働できる素養	6 世の中と自己を関連づけ、広く社会や人々に対して働きかけることができる。	23 79.3% (-17.3P)	6 20.7%	3.03 (-0.18)		3.07 (-0.21)		
忠恕の心	7 他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	28 96.6% (-3.4P)	1 3.4%	3.31 (-0.10)		3.31 (-0.10)		

【質問】 学科のディプロマ・ポリシー（卒業時に身につけているべき力）について
 本学での学びをとおして、以下の能力が身についたと思いますか。

【回答選択肢】 4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまりそう思わない 1：まったくそう思わない

(7) 経営会計学科

※ () 内は前年比

学科DP		回答者数/回答率				平均点 (4点満点)	
設問	能力	4	3	2	1		
確かな専門性	1	事務職として必要な知識（経営・マーケティング、会計・簿記、情報処理、ビジネスマナー）と、経理・事務処理に必要な簿記のスキル、PCのスキル（文書作成、表計算等）を身につけた。	55 100.0% (+3.7P)	0 0.0%	3.56 (+0.15)	3.34 (+0.20)	
	2	経営や簿記・会計の専門的知識を活かして、経営戦略や貸借対照表、損益計算書を分析して課題を発見し、課題解決に向けたプロセスを考えることができる。	49 89.1% (+2.1P)	6 10.9%	3.29 (+0.22)		
	3	新たな物事に積極的に取り組むことができる。	51 92.7% (+5.7P)	4 7.3%	3.22 (+0.22)		
	4	失敗や課題にもめげずに、最後までやり遂げることができる。	51 92.7% (+3.8P)	4 7.3%	3.27 (+0.18)		
社会で実践する力	5	担当する分野の先輩や後輩をはじめ、関係者との対話を通して協力して仕事に当たることができる。	53 96.4% (+2.0P)	2 3.6%	3.33 (+0.18)	3.33 (+0.22)	
	6	所属している組織やプロジェクトチームの中で、自分の役割を理解して、その責務を果たすことができる。	53 96.4% (+2.0P)	2 3.6%	3.33 (+0.26)		
協働できる素養	7	担当する分野の先輩や後輩をはじめ、関係者との対話を通して協力して仕事に当たることができる。	54 98.2% (+1.9P)	1 1.8%	3.38 (+0.18)	3.34 (+0.16)	
	8	所属している組織やプロジェクトチームの中で、自分の役割を理解して、その責務を果たすことができる。	54 98.2% (+1.9P)	1 1.8%	3.29 (+0.14)		
忠恕の心	9	他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	54 98.2% (+1.9P)	1 1.8%	3.53 (+0.20)	3.53 (+0.20)	

【アンケート結果より】

- 生活デザイン学科では、DPに到達したと感じる学生数が全ての項目で95%を超え、9項目中6項目では100%であった。各設問の平均点は全項目で前年を上回った。回答者数・平均点を見ても、DPに到達したと感じる学生は全体的に多い傾向が見られた。
- 調理・製菓学科では、DPに到達したと感じる学生数が全ての項目で95%を超え、「忠恕の心」では100%であった。各設問の平均点は8項目中6項目で前年を上回った。回答者数・平均点を見ても、DPに到達したと感じる学生は全体的に多い傾向が見られた。
- 栄養学科では、DPに到達したと感じる学生数が全ての項目で95%を超え、8項目中3項目では100%であった。各設問の平均点は8項目全てで前年を上回った。回答者数・平均点を見ても、DPに到達したと感じる学生は全体的に多い傾向が見られた。
- 幼児教育学科では、DPに到達したと感じる学生数が全ての項目で98%を超えた。また、各設問の平均点は全項目で前年比を上回った。回答者数・平均点を見ても、DPに到達したと感じる学生は全体的に多い傾向が見られた。
- 観光学科では、DPに到達したと感じる学生数が10項目中2項目が100%、4項目で95%を超えている。各設問の平均点は、「社会で実践する力」「協働できる素養」「忠恕の心」において前年を上回った。一方で、「確かな専門性」における「英語能力」について、到達したと感じていない学生が比較的多い傾向が見られる。
- グローバルコミュニケーション学科では、「忠恕の心」において95%超の学生が、DPに到達したと感じている。各設問の平均点では、「英語の専門的な知識・技術」以外の項目で3.00点を超えたが、前年を上回ったのは11項目中3項目にとどまる。
- 経営会計学科では、DPに到達したと感じる学生数が9項目中8項目で90%を超え、1項目では100%であった。各設問の平均点は全項目で前年を上回った。回答者数・平均点を見ても、DPに到達したと感じる学生は全体的に多い傾向が見られた。